

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42361
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和2年2月4日

リコール届出番号	4653	リコール開始日	令和2年2月5日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 <div style="float: right; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819 </div>		
不具合の部位（部品名）	①制動装置（前輪用ブレーキホース） ②制動装置（前輪用ブレーキホースホルダー）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①警音器の電気配線において、配索指示が不適切なため、ハンドルを左に切ると前輪用ブレーキホースと接触するものがある。そのため、当該ブレーキホースの保護材が摩耗し、そのままの状態で使用を続けると、当該ホースが損傷して、最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。 ②前輪用ブレーキホースを固定するホルダーにおいて、当該ホルダーの曲げ加工が不適切なため、正しい状態で取り付けられていないものがある。そのため、走行振動等により当該ホルダーが外れ、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキホースがフロントフォークに接触して当該ホースが損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、警音器の電気配線の取り回しを変更する。なお、当該ブレーキホースを点検し、損傷が認められるものは新品に交換する。 ②全車両、当該ホルダーを良品に交換する。なお、当該ブレーキホースを点検し、損傷が認められるものは新品に交換する。		
不具合件数	①0件 ②0件	事故の有無	①なし ②なし
発見の動機	①②社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 4653のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	2BK-RG43J	「YZF-R25A」	RG43J-005921～RG43J-007829 平成30年12月4日～平成31年2月25日	265台	①②
			RG43J-005922～RG43J-008320 平成30年12月4日～平成31年3月15日	503台	②
	2BL-RH13J	「YZF-R3A」	RH13J-002681～RH13J-003200 平成31年4月25日～令和元年7月12日	359台	②
	（計2型式）	（計2車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成30年12月4日～令和元年7月12日	（計1,127台）	①265 ②1,127

（備考）リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。